

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2018 助成の概要と推薦理由

助成番号 18-3-2

プロジェクト名 ニコゼミ 2019 学びあう・多面的視点の  
大切さを求めて  
団体名 認定特定非営利活動法人ニコちゃんの会  
代表者名 森山 淳子  
所在地 福岡県  
助成額 220万円  
助成期間 2019年9月1日～2020年8月31日  
設立年 1992年  
URL <http://www.nicochan.jp/>



本団体は、重い病気や障がいのある人や家族の周りにはいるあらゆる人が、互いに「こころ豊かに過ごすこと」を目的に、本人が楽しめるイベントの実施や福祉サービスの提供、文化芸術、啓発、調査研究等の活動を行っている。

重い病気や障がいのある子どもたちの在宅療養の現場では「多職種連携」が進められているが、情報共有に留まっている場合があり、子どもと家族を中心として地域の中で包括的に円滑に支援する取り組みが求められている。

これまでの助成では、重い病気や障がいのある子どもに関わる機会が少ない人を対象としたコミュニケーション講座「ニコゼミ」を立ち上げ取り組んできた。講座は最初の「出会いの場」、連続講座形式の「まなびの場」、実践形式の「やってみる場」、報告会としての「伝える場」の4段階から構成され、2年間で54名が受講し、報告会には毎年150～200名程度が来場し盛況となった。受講生たちは子どもたちと繋がりができ、その後はボランティアとして団体を手伝うなど「ニコゼミ」を超えた関りができていった。またHPやFacebook等を通じてゼミの様子が随時報告され、実績とともに発信力も高く評価された。

3年目となる今回の「ニコゼミ2019」では、現場の「多職種連携」を進めるために、受講対象を子どもたちに最も身近な医療・福祉・教育（療養）等の専門職に移し、子どもや家族の想いを「理解」し、多面的な思考で関わることができる人材を育成する講座を目指す。新たにゼミでは多職種連携が良好な状態で行われている事例訪問等も行い、報告会では「多職種連携 その先へ」をテーマとしたシンポジウムも計画している。

本団体は長い実績をもち、多様な人を巻き込む力のある実力のある団体である。「ニコゼミ」は単に知識や技術を伝えるものではなく、当事者とのコミュニケーションからアプローチするユニークなプログラムである。今回の助成により、現場の専門職が互いに学び合い、多面的な視点や協力し合うマインドを育てることで円滑な多職種連携が進み、子どもと家族のウェルビーイングを高めていくことを期待している。また今後もその実施を通じて、重い病気や障がいのある子どもと家族への理解が進み、病院と地域がつながり、在宅療養の受け皿づくりにつながることを願っている。